



創立30周年を迎えて

岡山白陵中学校・高等学校 校長

山本 隆文

一流の人材、それは高い学識と品性を兼ね備え、常に大局的な判断ができること、これが最低条件であることは論を俟たないところですが、本校は、さらに事を処するにあたって身を挺することができるかどうかで真の人材か否かが決まると考えております。英国のパブリックスクールや旧制高等学校に範を求める本校はこのような人材を育成し、もって天下国家に寄与することをその使命としております。

このような高邁な理想のもとに、先人たちの労を厭わぬ献身的な努力とそれに応えんと懸命の努力を重ねた生徒諸君の輝かしい足跡、それに加えて各界・各分野の皆様方からのご支援・ご鞭撻・ご協力を賜りまして本校はここに30周年という栄えある日を迎えることができました。理想に向かって大きく前進し、さらなる飛躍の端緒ともなるべき30周年であることに大いなる誇りと慶びを感じるものであります。

日本の教育の総本山たるべき文部科学省は、その学習指導要領で、昭和53年には「ゆとりある充実した学校生活の実現」を掲げ、平成元年改訂では「社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成」を謳い、平成10年には「自ら学び自ら考える生きる力の育成」を主眼とするなど、その時代時代の要請に応じて、教育の主目標を変えてまいりました。

しかしながら本校はここに改めて、常に高邁な理想を掲げた教育を全力を挙げて推進し続けることを誓うものであります。それは、社会的に生きるうえで不可欠な自らを律することができる力の育成、対人関係を円滑に築く基本となるさわやかで元気な挨拶の徹底、世のため人のために生きる根本となる清掃の徹底、これらを根底に据えたうえでの高度な知性と豊かな教養を身につける教育の徹底であります。そしてこれらの教育を貫徹することによってはじめて一流の人材の育成が可能になると固く信じております。

関係各位におかれましては、どうか本校の理想とするところ及びこれを実現するための熱き思いにより一層のご理解を賜り、引き続き力強いご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。創立30周年のご挨拶といたします。